福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日
令和６年１１月６日（水）

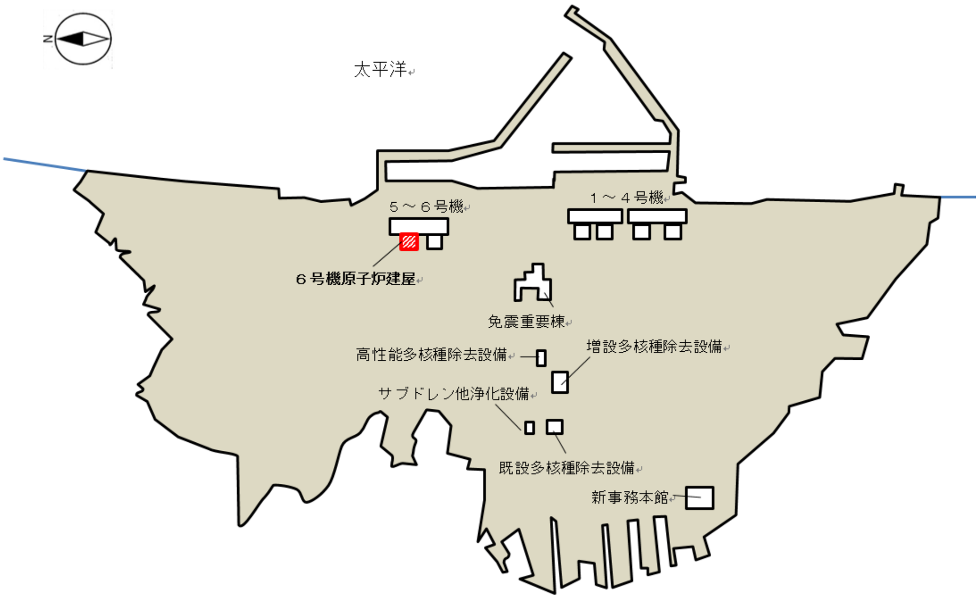
２　確認箇所
６号機原子炉建屋（図１）

３　確認項目
６号機燃料取り出し作業の状況

４　確認結果の概要
５号機及び６号機の原子炉建屋にある使用済燃料プール（以下「ＳＦＰ」という。）には、令和６年１０月３１日現在それぞれ1,374体、796体の使用済燃料が保管されている。東京電力は、地震や津波などに対してより安全性の高い共用プールで集中保管する方が安全であるとして、これらの使用済燃料を各原子炉建屋のＳＦＰから共用プールへの移送進めている。本日は、令和４年８月から使用済燃料取り出しが開始された６号機ＳＦＰについて、作業の状況を確認した。（前回確認日：令和６年８月２９日）

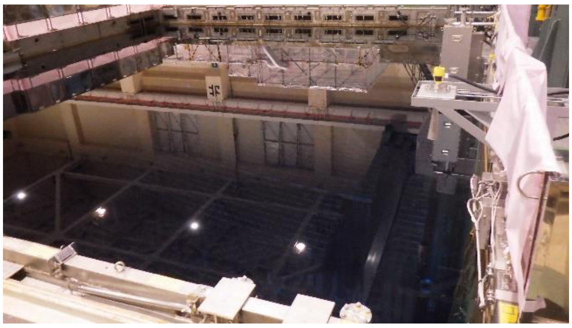
・６号機ＳＦＰの使用済燃料は、前回調査時から220体※搬出されていた。東京電力では６号機使用済燃料を令和７年度上期までに取り出しを完了する予定としている。
・ＳＦＰの水は、水質を維持するための設備（プール冷却浄化系）が稼働しているため、確認した範囲において濁り等の異常はなかった。（写真１）
・６号機ＳＦＰ周辺の作業エリアは整理整頓が施され、事故等のリスク低減が図られていた。（写真２）

※東京電力公表資料より算出した数値



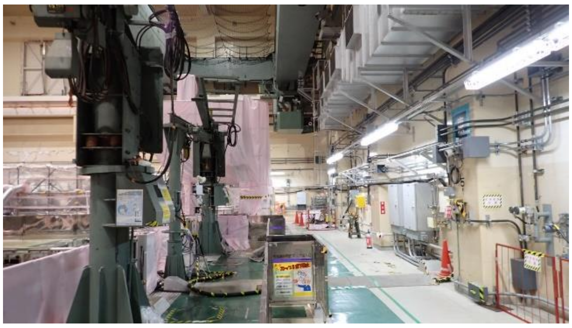
（図１）福島第一原子力発電所構内概略図

(写真1①)6号機SFP



(写真1②)6号機SFP

(写真2①)SFP周辺の作業スペース



(写真2②)SFP周辺の作業スペース

5　プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。